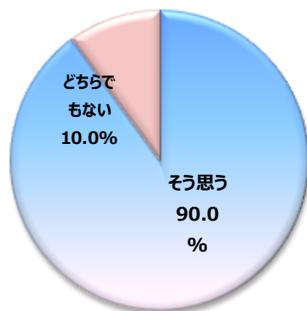


- 開催日：2017年11月16日（木）
- 会場：アイオス五反田
- 講師：（公社）国際経済労働研究所
研究員 向井 有理子

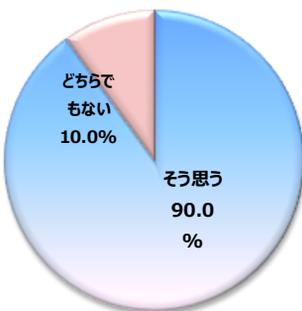
この度は「SRCのための調査活用セミナー」にご参加いただき、誠にありがとうございました。
参加者皆様のセミナーに関するご感想とグループワークの内容をまとめましたのでご報告いたします。
（ご出席者：11名 回答者数：10名）

■アンケート集計

●今回のセミナーへの期待は大きかったですか？



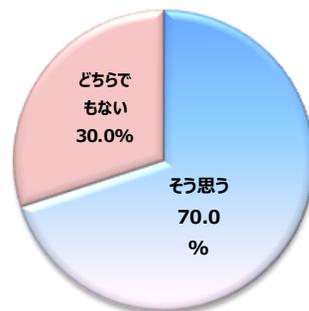
●講師のレクチャーはわかりやすかったですか？



●セミナー全体として満足されましたか？



●今後同様のセミナーがあれば、他の組合員（役員）も参加させたいですか？



※「そう思わない」という回答は0名でした。

■感想コメント（気づき・ご意見）

- ・調査の目的、測定方法、活用の流れがよく分かった。
- ・仮説モデルの設計が重要だという点が印象に残った。組織内でしっかり議論しながら進めていきたいと思えます。
- ・アンケートからの解釈の仕方を知ることができた。組合員の意見をストレートに聞けない事も、読みとれるように、活かしたい。
- ・解析結果読み取りのポイントとして、「多角的な視点を持つ」とありましたが、実際にワークをやってみて、他の受講者の方の回答を聞いて、多角的な視点をもつことの難しさを感じました。どうしたら鍛えられるかを考えます。
- ・調査データは活かすも殺すも計画次第。計画をしっかり行い評価することが大切かと思う。
- ・調査して組合員の関与が高まったということでも良い、これも1つの目標達成ということ（が印象に残った）。少し気分が楽になりました。

- ・時間、内容共に非常に良かったです。今後の活動に役立てたいと思います。
- ・分析方法について、もう少し具体的なアプローチ方法を学びたかった。
- ・勉強になりましたが、難しかったです。もっと詳しく知りたいと思いました。 . . . など

（セミナーの様子）



【事務局より】今回は7組織11名の方にご参加いただきありがとうございました。セミナーでの議論内容や気づきをぜひとも執行部で共有いただき、今後の運動推進にお役立てください。また、セミナーに関する疑問・質問などございましたら、事務局もしくは担当の研究員にいつでもご連絡ください。今後ともよろしくお願ひいたします。

（株）応用社会心理学研究所（事務局 末田、藤原）

〒540-0031
大阪市中央区北浜東1-8 北浜東森田ビル5F
Tel：06-6941-2171 Fax：06-6941-2081



Aspect

【調査を踏まえたアクションの実例】

A班

注目した調査結果

- ・男女比が8:2、一般組合員は6割。
- ・組合関与「必要であれば役員になって…」について、男性20代は意欲あるが、女性はない。
- ・女性も「活動に参加」はしたい → 20～30代に注目！
- ・「視野と人的交流」の役立ち=20代・30代は低い。一方で「セミナー」には関心が高い。

アクションの具体的内容

- ・20代・30代が興味を引く内容 → 異業種交流という名の「街コン」
- ・ボトムアップコミュニケーション高い → 自分たちで企画するような内容にする
- ・業界別では、食品労組の組合関与が高い → 交流することで意識を高めてほしい

ねらいとする効果

- ・20代・30代という若手層に関与してもらうことで、ゆくゆくは役員になり、組合活動の旗振り役になってもらいたい。

B班

注目した調査結果

- ・役員経験のない人(6割) → 巻き込んでいきたい。
- ・「集会への強制参加が嫌い」 → どの年代も多い=強制的な活動だったのかも？
- ・組合関与に影響するのは「視野の拡大・人的交流」「意見を聞いてくれる」「セミナー」

アクションの具体的内容

- ・20代は実践を深める=自分たちで企画！
- ・30代以上=異業種交流、各カテゴリにあったセミナーを提供
- ・女性は意見が反映されにくい？→ランチミーティングなどで気軽にしゃべってもらう

ねらいとする効果

- ・20代については集団よりも個の満足を高めて、組合がいいね！と思ってもらう。
- ・自主性を重んじ、今後中核を担う人材を育成する。

C班

注目した調査結果

- ・属性別結果より、
「社会的視野の拡大・人的交流」 → 若い世代は「役に立ってない」
「強制参加は好きでない」 → 若い世代は組合の活動自体意識できてない
→ これらの層を取り込む。⇔他の層なら、役員経験も多少あるだろう。
- ・若手は組合関与も高い！

アクションの具体的内容

- ・若手をうまく取り込み、役員になってもらう。
- ・青年層、女性層の委員会に入って、気軽に活動してもらう。

ねらいとする効果

- ・若い世代から積極的参加してもらい、近い世代への波及効果を狙う。
- ・あわせて上の世代へも活動の理解を促進。